

〔仮称〕合併記念公園の名前が決まりました  
〔西東京いこいの森公園〕

〔仮称〕合併記念公園の名前は、公募や市民アンケートの結果を踏まえて、名称選考委員会が検討しました。最終的に、応募総数354件の中から、谷戸町在住の野本瑩一さんの案が選出され、「西東京いこいの森公園」と決定しました。

新市建設計画の重点施策の一つである〔仮称〕合併記念公園は、緑町三丁目にあった東京大学原子核研究所の跡地を市が買い取り、平成17年の開園を目指して、現在、整備が進められています。

公園の敷地は、約4・4ヘクタール、東京ドームのグラウンド部分の約3・5倍、西原自然公園の約2・3倍、文理台公園の約7倍という広大なものです。市民のだれもが利用できる、いこいの森としての完成が待ち望まれます。



家庭用廃食用油を回収します

2月12日(木)午前、家庭用廃食用油の回収を行います。左表の回収場所にお持ちください。使い古しの家庭用廃食用油は、新聞のインク・塗料等にリサイクルされます。ペットボトルは貴重な資源ですので、廃食用油の入れ物には使わないでください。

回収時刻に来た方で希望者の方には、ポリタンクをお渡しします。回収予定時刻・場所、左表の通り、ごみ減量推進課(保管内線2221)

回収時刻	場所
9時	総合体育館 中町児童館 ひばりが丘福祉会館
9時30分	田無町地区会館 芝久保児童館 保谷障害者福祉センター ひばりが丘北児童センター
10時	北原地区会館 芝久保地区会館 富士町福祉会館 北町市民集会所
10時30分	谷戸地区会館 芝久保公民館 柳沢第三市民集会所 下保谷福祉会館
11時	柳沢第一児童遊園 西原団地集積所 ソーンハイム田無 柳橋出張所 住吉福祉会館
11時30分	田無庁舎駐車場 新町福祉会館 保谷庁舎駐車場

東京都は「調布保谷線沿道の用途地域見直し」  
市民説明会を開催します

皆さんの意見をお聞かせください

東京都は、昨年9月に「用途地域見直し素案」を策定し、公告・縦覧を経て、11月に公聴会を開催しました。今後、公聴会を寄せられた意見などを踏まえ、東京都都市計画審議会に付議する「東京都案」を策定する予定です。

現在、「東京都案」では、都市計画道路3・2・6号調布保谷線について、都境から新青梅街道(約3・1キロ)の沿道両側30メートルの用途地域を準住居地域(建ぺい率60%、容積率200%)に変更することを検討しています。

市民の皆さんの意見を頂くため、説明会を開催します。

市民説明会  
とき・ところ 2月4日  
(水)・富士町市民集会所 6  
貝金・スポーツセンター  
9日(月)・ふれあいセンター  
時間はいずれも午後3時～8時

〔仮称〕人にやさしいまちづくり条例の  
検討内容に関する市民説明会を開催します

皆さんの意見をお聞かせください

現在、〔仮称〕人にやさしいまちづくり条例制定市民懇談会では、条例の制定に向けて、基本理念や、今後取り組むべき事項について、活発に議論しています。これまでの検討内容について市民の皆さんの意見を頂くため、市民説明会(下表参照)を開催します。

当日は、市民懇談会での検討内容の説明のほかに、簡単なアンケートも行います。

なお、2月4日、15日の期間中、市ホームページでも市民説明会での内容をご覧いただけます。

都市計画課(保管内線2412)

とき	ところ
2月4日(水) 午前10時30分～11時30分	田無総合福祉センター
2月6日(金) 午後1時30分～2時30分	ふれあいセンター
2月7日(土)	スポーツセンター
2月10日(火) 午後5時～6時、7時～8時	田無庁舎会議室

平成14年度のごみ・資源物処理経費は 28億7,480万円

市民1人あたりは1万5,744円

1トン当たりの処理経費(表1)

種別	処理経費
可燃ごみ	4万7,734円
不燃ごみ	7万5,085円
粗大ごみ	9万7,064円
缶類	9万0,840円
びん類	7万7,373円
古紙・布類	2万4,659円
ペットボトル	17万1,902円
トレイ	155万5,124円
集団回収	1万2,126円

資源物はリサイクル費用も含む



市民の皆さんには、リサイクルのご協力とあわせて、引き続き、ごみと資源物の減量にもご協力をお願いします。

ごみ減量推進課(保管内線2221)

平成14年度のごみ・資源物の処理にかかった経費(し尿処理経費などを除く)は28億7,480万円、ごみ・資源物の収集量は合計で5万5,515トンを処理しました。これを1世帯当たり(市民平均2・3人)に換算すると、3万6,210円になり、市民1人当たりでは年額1万5,744円かかったこととなります。品目別の1トンの処理経費は、表1のとおりです。資源物の処理経費には、より多くの費用がかかっていることがわかります。

ごみと資源物の減量にご協力を

家庭から出されたごみ等は種別ごとに収集の後、中間処理場に運ばれ、焼却処理・破砕処理されます。その後、可燃ごみの焼却灰と、破砕された不燃ごみは、最終処分場に埋め立て処分されます。また、資源物は、選別や圧縮・こん包などされ、その後、再資源化施設でリサイクルされます。これらにかかる経費は表2のとおりです。

このようにごみ処理等には多くの経費がかかっています。また、資源物の収集・運搬およびリサイクルにも多くの費用がかかるため(表3)、単に「びんやペットボトル等は、リサイクルするから良い」というものでもありません。

ごみ・資源物を適正処理するために、一定の経費がかかることはやむを得ませんが、ごみ・資源物を減量することによって、経費を削減することはできます。

収集・運搬、処理・処分費用(年額)(表2)

ごみ	収集および運搬にかかる費用	中間処理(焼却や選別等)にかかる費用(柳泉園組合)	最終処分(埋立て)にかかる費用(広域処分組合)
可燃ごみ(燃やせるごみ)	4億9,946万1千円	10億9,696万4千円	6億5,504万1千円
不燃ごみ(埋立ごみ)	2億1,622万2千円		
粗大ごみ	4,114万7千円		
缶類	7,732万9千円		
びん類	7,135万6千円		
古紙・布類	9,007万2千円		
ペットボトル	5,826万6千円		
トレイ	1,392万4千円	1,941万3千円	
集団回収	3,560万3千円		
計	11億338万円		

その他 1,941万3千円

資源物を処理するにはこのくらいの経費がかかっています(表3)

主な資源物の処理にかかる費用

2リットルペットボトル 1本(75g)	12.9円	びん 1本(100g)	7.7円	スチール缶 1缶(50g)	4.5円	古紙・布類 1kg	24.6円
---------------------	-------	-------------	------	---------------	------	-----------	-------

(参考) 可燃ごみ(燃やせるごみ) 1kg 47.7円  
不燃ごみ(燃やせないごみ) 1kg 75.1円